

科 目 名	SS 化学 β	理数科・選択 2年次・2単位(後期)
目 標	化学や化学現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学や化学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
位 置 づ け	日常生活や社会との関連を図りながら、化学や化学現象について理解するとともに、科学的に探究するた めに必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすることが大切です。	

■使用する教材 ・教科書 ・問題集 ・プリント ・資料集 ・	■学習する単元とおおよその時期 ・第2部物質の変化と平衡 【10～11月】 第2章 化学反応とエネルギー ・第1部物質の状態 【12～3月】 第1章固体の構造 第2章物質の状態変化 第3章気体の状態方程式 第4章溶液の性質
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 授業では、新しく出てくる専門用語や理論を理解し、問 われていることを正確に把握する。次の時間に進むこと が予想される部分の予習をしておくことが望ましいが、授 業後の復習や類題演習を十分に行うこと。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基準	A 化学の特徴について十分理解しているとともに、自分の言葉で説明することができる。実験などに関する基本操作や記録などの技能をきちんと身に付け、その役割を理解している。	問題を見いだし見通しをもって取り組むことができ、科学的に考察している。自身の考えをまとめ、周囲と共有し考えを深めることができる。	化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、しっかりと科学的に探究しようとしている。
	B 化学の特徴について理解している。実験などに関する基本操作や記録などの技能をきちんと身に付けている。	問題を見いだし取り組むことができる。自身の考えをまとめ、周囲と共有することができる。	化学の特徴に関する事物・現象について、振り返り、科学的に探究しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の 場面	定期考査、小テスト、実験 課題の提出内容	定期考査、小テスト、実験 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について